



- 記事 1. 「平成27年度地下鉄関係予算の措置状況に関する説明会」を実施
2. 国土交通省鉄道局の人事異動 (平成27年2月20日付)
3. 国土交通省鉄道局の配席図 (平成27年2月20日現在)

1 「平成27年度地下鉄関係予算の措置状況に関する説明会」を実施

去る2月19日(木)13時30分から、当協会の5階会議室において標記説明会を開催し、国土交通省鉄道局都市鉄道政策課金子駅機能高度化推進室長、同課大島輸送障害対策推進官及び同課池田整備係長並びに総務省自治財政局公営企業経営室廣澤室長、同室福西課長補佐、御手洗交通事業係長等の出席の下、東京地下鉄(株)、札幌市交通局、横浜市交通局など12事業者の財務課長等16名の参加を得て、平成27年度政府案の地下鉄関係予算や地方財政措置等の説明があり、意見交換がなされました。



まず、鉄道政策課大島輸送障害対策推進官の挨拶のあと、同課の池田整備係長から、地下鉄の予算について、26年度補正予算で創設された「浸水対策」の概要、



②説明会の模様

及び対象事業者の予定が示され、次いで、当協会が昨年7月に要望していた「平成27年度予算に係る重点要望事項」への取り組みの状況などについて説明がありました。また、大島輸送障害対策推進官からは「エコレールプロジェクト事業」に係る予算措置及び取扱いについて説明がなされました。

①国土交通省の説明に聞き入る参加者

これらの説明に対し、地下鉄事業者から、浸水対策が予算措置されたことに伴う補助対象設備などについて質問があり、同係長からは、基本的にハザードマップとの関連から「浸水対策」として取り組めるものが対象であり、また事業採択に当たっては、各事業者の27年度の実施計画等においても個別に判断することとなる旨の説明がありました。

また、「エコレールプロジェクト事業」に関しては、「平成27年度予算に係る重点要望事項」の措置状況の中で、補助金申請書の簡素化について、環境省と引き続き検討していく旨の発言があり、また、今後の事業の見通しについても、この事業自体は一応5年の時限的な事業とされているが、地球温暖化税の平年度化を考慮すれば、何らかの形で、この財源を活用した事業の推進を図る必要があるとの見解が示され、各事業者のさらなる取組みの必要を示唆しました。

続いて、総務省自治財政局公営企業経営室廣澤室長から挨拶を兼ねて「平成 27 年度の地方財政対策及び地方債計画のポイント」の説明があり、次いで同室福西課長補佐から、「平成 27 年度予算に係る重点要望事項」の措置状況では、各事業者から要望していた「減価償却に見合う償還期限の見直し(30 年→40 年)」の説明がありました。



③廣澤公営企業経営室長の挨拶

御手洗係長からは「平成 26 年度地方債計画の改正」、「同 27 年度地方財政計画」のポイント及び公営企業繰出金等についての説明がなされた。

各事業者の皆さんからは、「一般会計から公営企業への繰出金」について財務当局の制約が厳しい環境があること等各自治体における財務運営上の問題点などが紹介され、これに対し丁寧な回答がありました。

2 国土交通省鉄道局の人事異動

(平成 27 年 2 月 20 日付)

新	旧	氏名
大臣官房付	総務課貨物鉄道政策室長	三輪 田 優子
総務課貨物鉄道政策室長	大臣官房総務課企画官	高橋 徹

3. 国土交通省鉄道局の配席図 (事務職)

(平成 27 年 2 月 20 日現在)

次頁参照

平成 27 年度「児童福祉週間」の標語

【入選作品】

見てみよう 一人ひとりの よいところ (薄木 悠人 6 歳 香川県)

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp